

当PDF文書は上に示されている企業に関する詳細レポートのアップデート版として作成されたものです。
 詳細レポート全体につきましては弊社ウェブサイトをご覧ください。

2019年5月15日、ソースネクスト株式会社は、2019年3月期通期決算を発表した。

四半期業績推移 (百万円)	17年3月期				18年3月期				19年3月期				19年3月期	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	進捗率	通期会予
売上高	1,988	2,233	2,795	2,325	1,579	2,341	2,813	2,761	2,436	3,308	4,497	4,470		
前年比	29.1%	27.2%	34.0%	41.3%	-20.6%	4.8%	0.6%	18.8%	54.3%	41.3%	59.9%	61.9%		
売上総利益	1,452	1,532	1,758	1,568	989	1,579	1,933	1,779	1,355	2,126	2,896	2,725		
前年比	35.8%	16.8%	15.9%	35.3%	-31.9%	3.1%	10.0%	13.5%	37.0%	34.7%	49.8%	53.1%		
売上総利益率	73.0%	68.6%	62.9%	67.4%	62.6%	67.4%	68.7%	64.4%	55.6%	64.3%	64.4%	61.0%		
販管費	1,008	1,057	1,295	1,177	1,172	1,637	1,009	1,295	1,408	1,713	2,379	2,822		
前年比	22.9%	26.0%	27.3%	28.4%	16.3%	54.8%	-22.1%	10.1%	20.1%	4.6%	135.8%	117.9%		
売上高販管費比率	50.7%	47.3%	46.3%	50.6%	74.3%	69.9%	35.9%	46.9%	57.8%	51.8%	52.9%	63.1%		
営業利益	486	380	476	231	63	376	398	402	85	422	338	14		
前年比	74.2%	-17.2%	-3.2%	7.3%	-87.1%	-1.2%	-16.4%	73.7%	35.8%	12.4%	-15.1%	-96.5%		
営業利益率	24.4%	17.0%	17.0%	9.9%	4.0%	16.0%	14.2%	14.5%	3.5%	12.8%	7.5%	0.3%		
経常利益	497	382	472	242	65	380	400	414	85	431	352	37		
前年比	76.5%	-17.4%	-4.4%	6.9%	-86.9%	-0.5%	-15.2%	70.9%	30.6%	13.6%	-12.0%	-91.1%		
経常利益率	25.0%	17.1%	16.9%	10.4%	4.1%	16.2%	14.2%	15.0%	3.5%	13.0%	7.8%	0.8%		
当期純利益	338	257	311	165	86	242	259	675	49	350	226	-9		
前年比	81.2%	-19.3%	-5.6%	5.3%	-74.5%	-6.1%	-16.8%	309.8%	-42.8%	44.7%	-12.8%	-101.3%		
当期純利益率	17.0%	11.5%	11.1%	7.1%	5.5%	10.3%	9.2%	24.4%	2.0%	10.6%	5.0%	-		
累計値	1Q累計	2Q累計	3Q累計	4Q累計	1Q累計	2Q累計	3Q累計	4Q累計	1Q累計	2Q累計	3Q累計	4Q累計		
売上高	1,988	4,221	7,016	9,341	1,579	3,920	6,733	9,495	2,436	5,743	10,241	14,711	87.5%	16,807
前年比	29.1%	28.1%	30.4%	33.0%	-20.6%	-7.1%	-4.0%	1.6%	54.3%	46.5%	52.1%	54.9%		77.0%
売上総利益	1,452	2,984	4,741	6,309	989	2,568	4,501	6,280	1,355	3,482	6,377	9,102		
前年比	35.8%	25.3%	21.7%	24.8%	-31.9%	-13.9%	-5.1%	-0.5%	37.0%	35.6%	41.7%	44.9%		
売上総利益率	73.0%	70.7%	67.6%	67.5%	62.6%	65.5%	66.9%	66.1%	55.6%	60.6%	62.3%	61.9%		
販管費	1,008	2,065	3,360	4,537	1,172	2,371	3,818	5,114	1,408	3,121	5,500	8,322		
前年比	22.9%	24.5%	25.6%	26.3%	16.3%	14.8%	13.6%	12.7%	20.1%	31.6%	44.0%	62.7%		
売上高販管費比率	50.7%	48.9%	47.9%	48.6%	74.3%	60.5%	56.7%	53.9%	57.8%	54.3%	53.7%	56.6%		
営業利益	486	866	1,342	1,573	63	438	836	1,238	85	508	846	860	34.4%	2,499
前年比	74.2%	17.3%	9.1%	8.8%	-87.1%	-49.4%	-37.7%	-21.3%	35.8%	15.8%	1.1%	-30.5%		101.9%
営業利益率	24.4%	20.5%	19.1%	16.8%	4.0%	11.2%	12.4%	13.0%	3.5%	8.8%	8.3%	5.8%		14.9%
経常利益	497	879	1,351	1,593	65	445	845	1,259	85	516	869	906	36.2%	2,502
前年比	76.5%	18.2%	9.2%	8.8%	-86.9%	-49.4%	-37.5%	-21.0%	30.6%	16.1%	2.8%	-28.1%		98.8%
経常利益率	25.0%	20.8%	19.3%	17.1%	4.1%	11.4%	12.5%	13.3%	3.5%	9.0%	8.5%	6.2%		14.9%
当期純利益	338	595	906	1,071	86	328	586	1,261	49	399	624	616	33.9%	1,818
前年比	81.2%	17.8%	8.6%	8.1%	-74.5%	-45.0%	-35.3%	17.8%	-42.8%	21.7%	6.5%	-51.2%		44.1%

出所：会社データよりSR社作成

*表の数値が会社資料とは異なる場合があるが、四捨五入により生じた相違であることに留意。

チャンネル別売上高 (百万円)	17年3月期				18年3月期				19年3月期			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
スマートフォン事業者	388	401	391	384	364	290	282	270	238	222	185	183
前年比	34.7%	36.4%	15.0%	17.1%	-6.4%	-27.7%	-27.9%	-29.7%	-34.6%	-23.4%	-34.4%	-32.2%
自社オンラインショップ	974	939	1,152	941	899	968	1,414	1,109	1,046	1,269	1,648	2,336
前年比	30.0%	3.6%	10.6%	4.1%	-7.7%	3.1%	22.7%	17.9%	16.4%	31.1%	16.5%	110.6%
家電量販店・他社EC	572	826	1,159	870	185	921	928	1,172	817	1,573	2,344	1,369
前年比	31.3%	61.3%	74.8%	136.4%	-67.6%	11.5%	-19.9%	34.7%	341.6%	70.8%	152.6%	16.8%
その他	52	69	92	109	130	161	183	217	333	243	321	582
累計値	1Q累計	2Q累計	3Q累計	4Q累計	1Q累計	2Q累計	3Q累計	4Q累計	1Q累計	2Q累計	3Q累計	4Q累計
スマートフォン事業者	388	789	1,180	1,564	364	654	936	1,206	238	460	645	828
前年比	34.7%	35.5%	27.9%	25.1%	-6.4%	-17.1%	-20.7%	-22.9%	-34.6%	-29.7%	-31.1%	-31.3%
自社オンラインショップ	974	1,913	3,065	4,006	899	1,867	3,281	4,390	1,046	2,315	3,963	6,299
前年比	30.0%	15.5%	13.6%	11.3%	-7.7%	-2.4%	7.0%	9.6%	16.4%	24.0%	20.8%	43.5%
家電量販店・他社EC	572	1,398	2,557	3,427	185	1,106	2,034	3,206	817	2,390	4,734	6,103
前年比	31.3%	47.4%	58.7%	73.1%	-67.6%	-20.9%	-20.5%	-6.4%	341.6%	116.1%	132.7%	90.4%
その他	52	121	213	322	130	291	474	691	333	576	897	1,479

出所：会社データよりSR社作成

*2015年3月期より販売チャンネルの区分を一部変更したため、前年度の数字は参考値。

2019年3月期実績（2019年5月15日発表）

- ▷ 2019年3月期実績：売上高14,711万円（前期比54.9%増）、営業利益860百万円（同30.5%減）、経常利益は906百万円（同28.1%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は616百万円（同51.2%減）
- ▷ 達成率：2019年3月期会社予想に対する達成率は、売上高87.5%、営業利益34.4%、経常利益36.2%、親会社株主に帰属する当期純利益は33.9%
- ▷ 計画未達の理由：売上高の未達は、郊外家電量販店における「POCKETALK W」販売未達、通信キャリアからのコンテンツ提供事業者への収益分配原資の減少、パソコンソフトのハガキ市場伸び悩みなどが背景。利益の未達は、「POCKETALK」のブランド認知のための積極投資（交通広告・TVCM、販促費）や自社システムの開発・改修に伴う販管費増などが背景
- ▷ 前期比54.9%増収：家電量販店・他社ECサイト（前期比90.4%増）・自社オンラインショップ（同43.5%増）、スマートフォン事業者（同31.3%減）、その他（同114.0%増）
- ▷ 同30.5%営業減益：原価率が同4.5ポイントの上昇の37.6%（POCKETALK® W利用拡大に伴うSIM通信料の増加など）。「POCKETALK® W」の広告宣伝費、店頭展開強化のための販売促進費、自社オンラインショップの出荷費用、自社システムの改修に伴う業務委託費、人件費などの増加により、売上高販管費率が前期比2.7ポイント上昇の56.6%となった

訪日旅行市場を取り巻く環境

2019年3月の訪日外客数は前年同月比5.8%増の2,760千人（2019年4月、日本政府観光局調べ）となり、2018年3月の2,608千人を約150千人上回り、3月として過去最高となった

2019年3月期における同社の取り組み

こうした状況の中、同社は、スマートフォン向けアプリ及びパソコンソフト、IoT製品の新規ユーザーの獲得と、マーケットの拡大に取り組んだ。

「POCKETALK® W」の動向

- ▷ 2018年9月に販売開始した「POCKETALK® W」は、多数のメディアに取り上げられ、日本経済新聞社の「2018年日経優秀製品・サービス賞 最優秀賞」他多数の賞を受賞
- ▷ 「POCKETALK® W」の認知拡大のため、交通広告やTVCM、テレビショッピングなどの露出を推進
- ▷ 国内は、既存販路チャンネルに加え、交通機関、全国の自治体・観光協会などの法人へも積極的に販路を拡大。下半期には米国や欧州での販売も開始
- ▷ 2019年2月には累計出荷台数が30万台を、同年4月には40万台を突破

販売チャンネル別営業概況

各販売チャンネルの営業概況は以下の通りである。

スマートフォン・通信事業者（キャリア） :売上高828百万円（前期比31.3%減）

同チャンネルでは、国内主要3キャリアが提供する定額アプリ使い放題サービスへのコンテンツ提供及び販売に注力している。KDDI株式会社の「auスマートパス」への提供は、海外の人気アプリを中心に合計35アプリ（前期：41アプリ）となった。ソフトバンク株式会社の「App Pass」へは合計34アプリ（前期：28アプリ）となった。株式会社NTTドコモの「スゴ得コンテンツ」は合計で5サイト25アプリ（前期：5サイト24アプリ）となった。主力アプリでは製品間の連携機能や常駐機能を追加することで利用者増に努めた。しかし、各キャリアが提供する定額アプリ使い放題サービスの会員数減少に伴いコンテンツ提供事業者への収益分配原資の削減などが影響し、前期比減収となった。

自社オンラインショップ: 売上高6,299百万円(前年同期比43.5%増)

同チャンネルでは、同社のウェブサイトソースネクストeSHOPを併設し、ソフトウェアおよび「POCKETALK」等を中心としたIoT・ハードウェア等の販売を行なっている。

「POCKETALK® W」は、2018年10月よりテレビショッピングでの放映を開始した。新たなユーザー層からの反響もあり、第4四半期からは放映量を拡大し、認知度向上と収益拡大に繋がった。自社オンラインショップのみのサービス「名入れサービス」などを実施した。3万台限定で発売した「LIMITED RED」も好評につき完売。

その他、ハガキ作成ソフトの3ブランド、紙書類にパソコンで文字をぴったり印字する「さよなら手書き5」など人気製品のバージョンアップも好調に推移した。

家電量販店および他社ECサイト: 売上高6,103百万円 (前年同期比90.4%増)

同チャンネルでは、家電量販店および他社ECサイトなどにおいて、個人ユーザー向けパソコンソフト等の販売を行っている。

「POCKETALK® W」は、大手通信販売会社の「ジャパネットたかた」などTVショッピングでの販売開始や、年末年始のTVCM放映効果などが店頭展開を後押しする形となった。全国の店頭販売員向け研修の実施により、郊外店舗の売上高も上昇傾向となった。また、「ドン・キホーテ」や免税店など販路の拡大を推進した。

そのた、ハガキ作成ソフトの3ブランドやセキュリティソフトの主力製品が売上高に寄与した。

その他:売上高1,479百万円 (前期比114.0%増)

主に、法人向けのPOCKETALKの販売・レンタル提供やパソコンソフトや、アプリの使い放題サービス等を行なっている。

法人向け「POCKETALK」は、下半期には全国の展示会参加により法人向け販売・レンタルの認知度向上に努めた。これにより、各地の商工会議所や商店街組合からインバウンド対策としての翻訳機ニーズが高まった。空港や鉄道などの交通機関を始めとする大手グループ企業の導入が進み、JRグループ各社など、鉄道・バス各社での接客ツールとしての導入が収益寄与した。

既存製品では、格安スマホやSIM関連事業者向けに提供した留守番電話が読めるアプリ「スマート留守電」などの月額利用が引き続き拡大し、収益に寄与した。

2019年2月には、株式会社INFORICHが実施する第三者割当増資の引受け(株式取得)を決議契約を締結したことに伴い、INFORICH社が提供するモバイルバッテリーのシェアリングサービス「ChargeSPOT」の取扱いを開始。渋谷駅周辺を始め、設置先店舗が1,400ヶ所を超え好評を博している。

今期会社計画

(百万円)	18年3月期			19年3月期			20年3月期		
	上期実績	下期実績	通期実績	上期実績	下期実績	通期実績	上期会予	下期会予	通期会予
売上高	3,920	5,574	9,495	5,743	8,968	14,711	9,321	10,700	20,021
前年比	-7.1%	8.9%	1.6%	46.5%	60.9%	54.9%	62.3%	19.3%	36.1%
売上原価	1,352	1,791	3,143	2,262	3,267	5,529			
売上総利益	2,568	3,783	6,351	3,482	5,700	9,182			
前年比	-13.9%	13.8%	0.7%	35.6%	50.7%	44.6%			
売上総利益率	65.5%	67.9%	66.9%	60.6%	63.6%	62.4%			
販売費及び一般管理費	2,371	2,742	5,114	3,121	5,201	8,322			
売上高販管費比率	60.5%	49.2%	53.9%	54.3%	58.0%	56.6%			
営業利益	438	800	1,238	508	352	860	202	1,403	1,605
前年比	-49.4%	13.1%	-21.3%	15.9%	-56.0%	-30.5%	-60.2%	298.8%	86.7%
営業利益率	11.2%	14.3%	13.0%	8.8%	3.9%	5.8%	2.2%	13.1%	8.0%
経常利益	445	814	1,259	516	390	906	200	1,401	1,601
前年比	-49.4%	14.0%	-21.0%	16.0%	-52.1%	-28.1%	-61.2%	259.6%	76.8%
経常利益率	11.4%	14.6%	13.3%	9.0%	4.3%	6.2%	2.1%	13.1%	8.0%
当期純利益	328	933	1,261	399	217	616	140	980	1,120
前年比	-45.0%	96.4%	17.8%	21.8%	-76.8%	-51.2%	-64.9%	351.9%	81.9%

出所：会社データよりSR社作成

*表の数値が会社資料とは異なる場合があるが、四捨五入により生じた相違であることに留意。

2020年3月期通期業績見通し

2020年3月期通期会社計画は、売上高前期比36.1%増の20,021百万円、営業利益が同86.7%増の1,605百万円、経常利益が同76.8%増の1,601百万円、親会社株主に帰属する当期純利益が同81.9%増の1,120百万円、1株当たり年間配当金額は1.23円（前期は0.68円）としている。

概要

- ▷ 「POCKETALK (ポケットーク) W」は、2020年東京オリンピックを背景に外国人利用の増加を想定し、自社オンラインショップや家電量販店での販売強化、宿泊施設や観光施設などの運営事業者向けのレンタルサービス提供の推進、テレビCMやインターネットを中心としたプロモーションを強化
- ▷ 2019年1月に欧州販路開拓のためオランダ現地法人を設立。2020年3月期中に世界20カ国以上へ展開し業績拡大を図る
- ▷ 2019年3月にはJapanTaxi社との業務提携を発表。同年6月には同社が全国のタクシーに提供する車載タブレットに「POCKETALK W」をSDK化して標準の通話機能として搭載予定
- ▷ IoT製品の第2弾として「FamilyDot (ファミリドット)」の提供を開始。家族の居場所をスマートフォンで確認できる世界中71カ国で利用できる小型GPSデバイス
- ▷ 同社のソフトウェア開発・販売経験を活かし、今後も価値消費者向けIoT製品の企画開発を推進。2020年3月期中には5つのIoT製品を発売し、グローバルIoTメーカーを目指す
- ▷ ソフトウェアビジネスにおいては、「Dropbox」など、世界中から高品質で便利なコンテンツを取得。継続的に製品の改善を進める
- ▷ 販管費は、「POCKETALK」のプロモーションに注力する一方、その他費用を低減
- ▷ 将来の収益拡大や費用削減に向けたIoT製品の研究開発・システム投資を継続

このリサーチメモは、掲載企業の[最新版レポート](#)にも掲載されています。

株式会社シェアードリサーチは今までにない画期的な形で日本企業の基本データや分析レポートのプラットフォーム提供を目指しています。さらに、徹底した分析のもとに顧客企業のレポートを掲載し随時更新しています。

ディスクレーム

本レポートは、情報提供のみを目的としております。投資に関する意見や判断を提供するものでも、投資の勧誘や推奨を意図したものではありません。SR Inc.は、本レポートに記載されたデータの信憑性や解釈については、明示された場合と黙示の場合の両方につき、一切の保証を行わないものとします。SR Inc.は本レポートの使用により発生した損害について一切の責任を負いません。

本レポートの著作権、ならびに本レポートとその他Shared Researchレポートの派生品の作成および利用についての権利は、SR Inc.に帰属します。本レポートは、個人目的の使用においては複製および修正が許されていますが、配布・転送その他の利用は本レポートの著作権侵害に該当し、固く禁じられています。SR Inc.の役員および従業員は、SR Inc.の調査レポートで対象としている企業の発行する有価証券に関して何らかの取引を行っており、または将来行う可能性があります。そのため、SR Inc.の役員および従業員は、該当企業に対し、本レポートの客観性に影響を与える利害を有する可能性があることにご留意ください。

金融商品取引法に基づく表示

本レポートの対象となる企業への投資または同企業が発行する有価証券への投資についての判断につながる意見が本レポートに含まれている場合、その意見は、同企業からSR Inc.への対価の支払と引き換えに盛り込まれたものであるか、同企業とSR Inc.の間に存在する当該対価の受け取りについての約束に基づいたものです。

連絡先

株式会社シェアードリサーチ / Shared Research Inc.
東京都文京区千駄木3-31-12
HP: <https://sharedresearch.jp>
TEL : (03)5834-8787
Email: info@sharedresearch.jp